（別紙4（2））

事業所名　グループホームみらい

作成日：　令和　2年　3月　19日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 6 7 13 34	・身体拘束、虐待防止や感染症に対しての施設内研修は数年前からすべての職員が受けられるように取り組んできたが、接遇についての課題が職員の方から挙げられた ・接遇マナーについて改善の必要があると思われる	・ホームの理念にある、利用者の尊厳や笑顔と安らぎ、利用者への感謝と思いやり、という言葉は接遇にも大きく関わっているため、職員が理念に沿ったケアが出来るようになる	・身体拘束、虐待防止や感染症に対しての施設内研修に加え接遇マナーについての研修会を全ての職員が受けられるように、昼間の時間を利用し施設内で行う事	12ヶ月
2	1	○理念の共有と実践 ・ホームの理念として掲げられた言葉が抽象的であるため、具体的な内容にすることで職員が実践しやすくなると思う	・ホームの理念にある、利用者の尊厳や笑顔と安らぎ、利用者への感謝と思いやり、という言葉の中から職員から利用者に感謝（ありがとうございました等）が言える事柄や場面を日々見出す事が出来るようになる	・介護記録に感謝した事のエピソードを記録に残す ・敬老会で利用者一人一人に感謝状を渡せるようにする（どのような事柄への感謝状か具体的に分かるようにする）	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。